

東京湾海況情報 23-12

東京湾水質調査結果（平成24年3月）

（平成24年3月29日発行）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
TEL 0439-65-3071
E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 3/22：内湾(わかふさ)、3/14：内房(ふさみ丸)、3/27：千葉県環境研究センター
関東・東海海況速報(3/1-23)、東京湾口海況図(3/1-23)
モニタリングポスト(3/22：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)はほぼ全域で11~12℃台で、平年よりやや低くなっています。塩分は内湾北部でやや高くなっています。

一方、内房海域の表層水温はやや弱い沖合水の影響によって、ほぼ12~15℃台になっています。新富津から下洲ベタ流し漁場周辺の沖合に水温14℃台の水塊がみられ、水温15℃以上、塩分34以上の水塊が久里浜から勝山沖付近の40m以深から内湾に向かって流入しています(図3)。

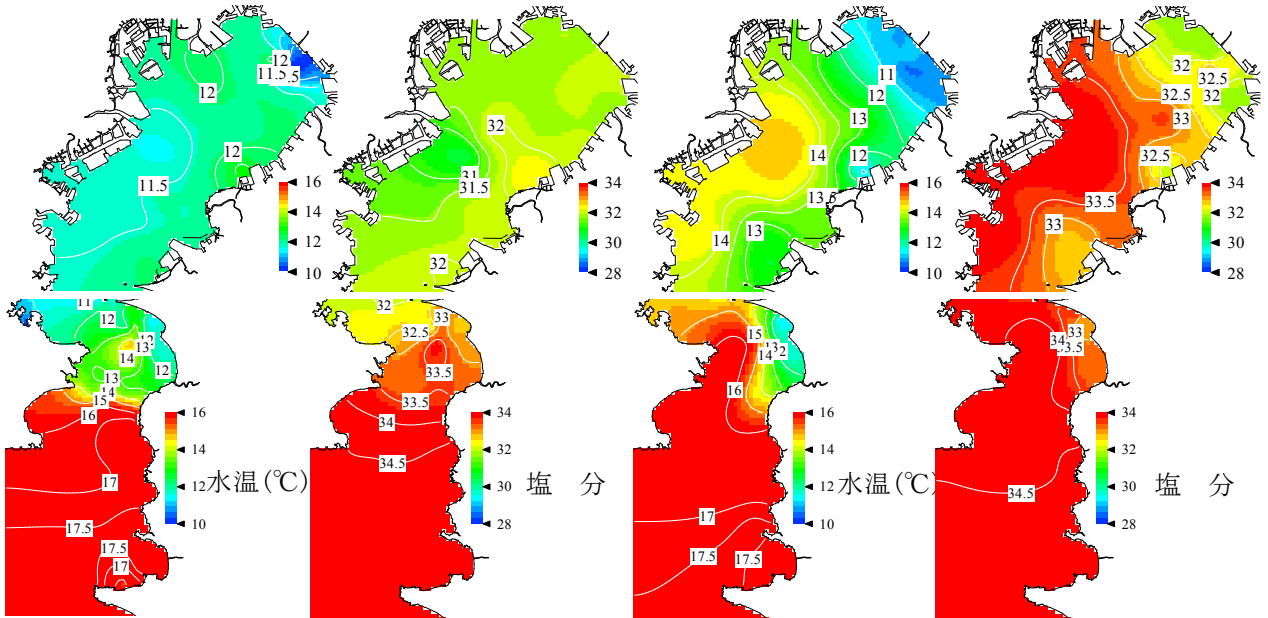


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

内湾と内房の観測日の間隔が大きいので、水平分布図を分けて掲載しています。

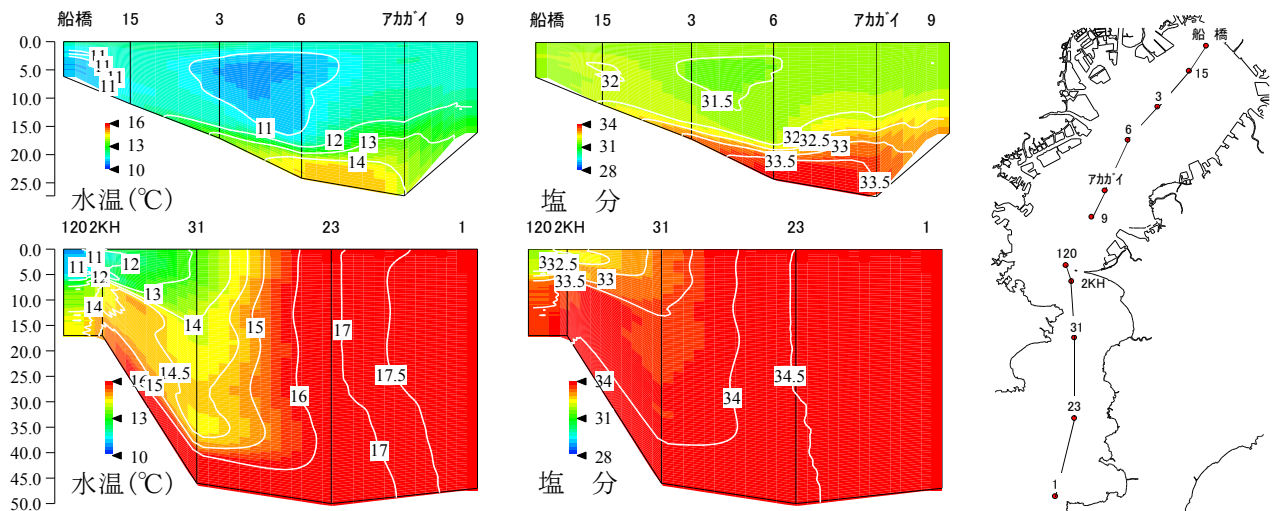


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布

（上：内湾(3/22)、下：内房海域(3/14)、右：調査ライン）

【 赤潮の状況 】

赤潮は湾奥部の東側(船橋・幕張～検見川の浜地先)で発生し、pHは8.5に上昇、透明度は2m台に低下し、水色もやや褐色を呈した軽度の赤潮状態でした。

優占種はケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)、ユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)で、ディチウム(*Ditylum brightwellii*)も多くみられていました。

一方、内房海域では、ほとんどがケイ藻で占められ、全域でユーカンピアがみられていました。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μg/L以上

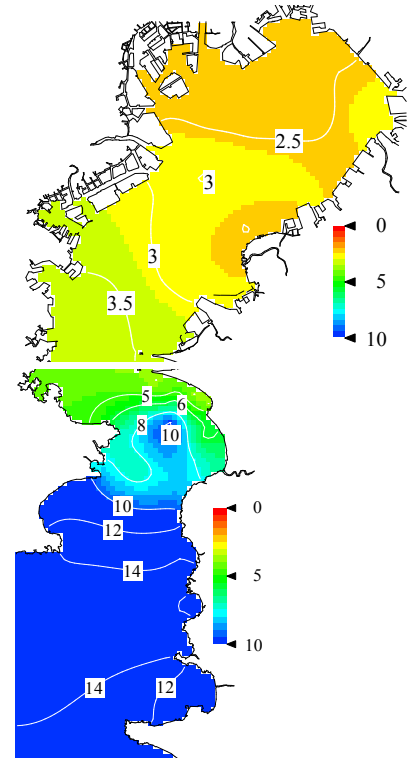


図4 透明度の分布(m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は最も低い京葉シーバス付近で4ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

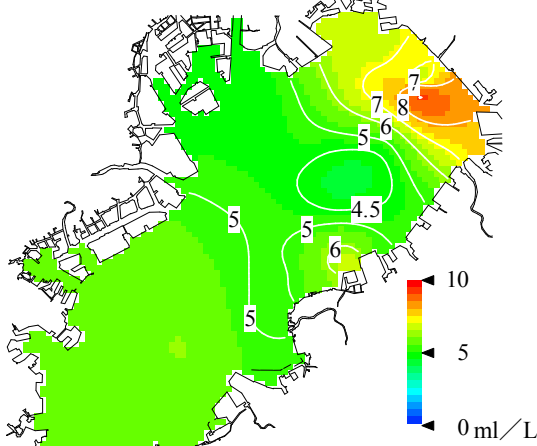


図5 底層の溶存酸素量の分布(内湾)

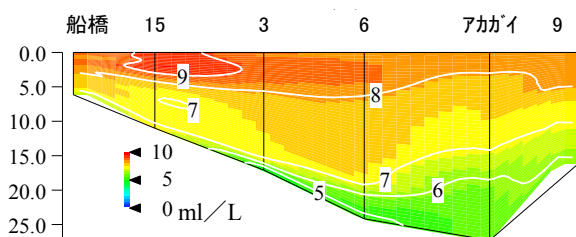


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は溶存無機態窒素(DIN)・リン酸態リン(PO₄-P)ともほぼ全域で平年より少なく、内湾ではリン酸態リンが非常に少なくなっています。

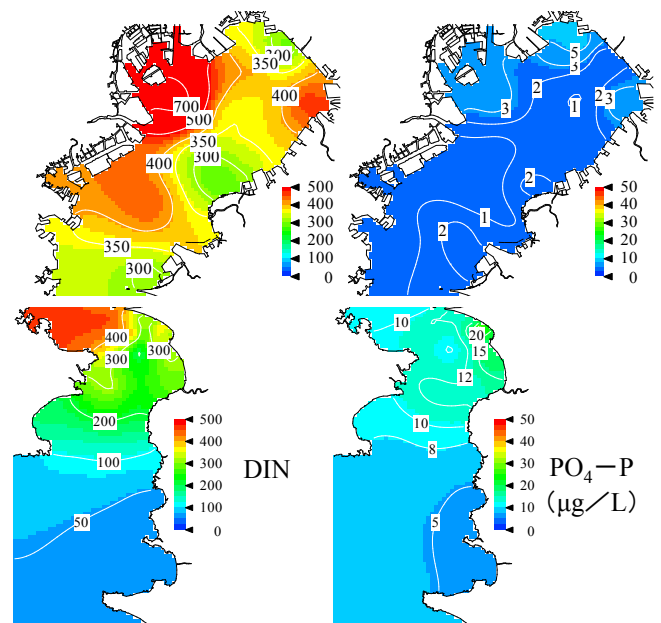


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮は依然変動しており、その流軸は23日現在八丈島の南を通った後、北上しながら、房総半島南東岸を北東方向に流れています(図8)。

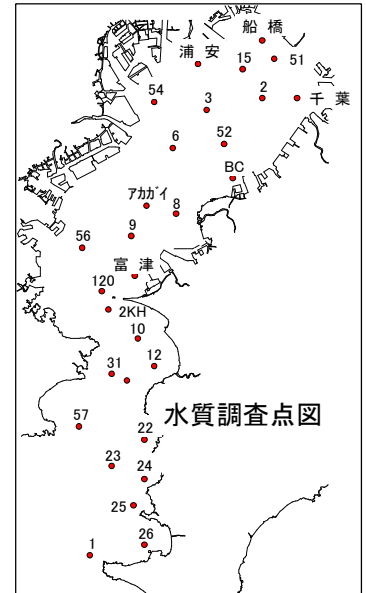
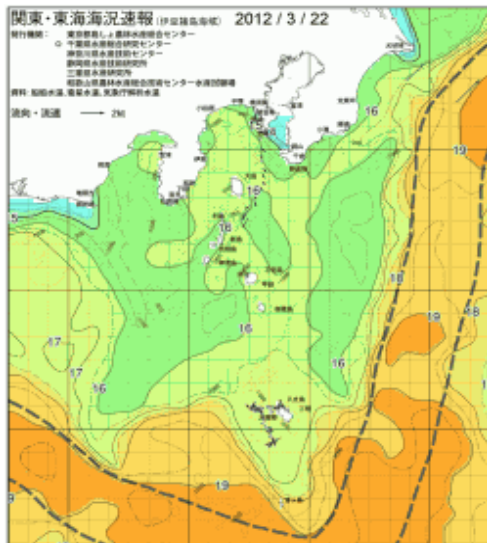


図8 黒潮の動き (平成24年 3月22日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2001~2010年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)	
内湾	船橋	11.4 (10.9)	31.80 (30.75)	2.3 (3.1)	8.5 (8.4)	6.6 (6.5)	31 (70)	305 (476)	6 (15)	14.6
	st.15	11.7 (10.9)	31.69 (30.88)	2.3 (3.5)	8.6 (8.4)	7.0 (5.9)	6 (49)	392 (432)	2 (8)	12.4
	st.3	11.9 (10.9)	31.78 (31.01)	2.4 (4.2)	8.5 (8.4)	4.7 (5.5)	5 (48)	399 (459)	2 (7)	11.0
	st.6	11.4 (10.8)	31.78 (30.96)	3.0 (4.5)	8.5 (8.4)	4.9 (4.4)	20 (51)	357 (424)	1 (8)	7.2
	st.9	11.5 (10.9)	31.56 (31.63)	3.0 (5.0)	8.5 (8.4)	5.8 (5.7)	10 (37)	402 (359)	2 (7)	9.1
	st.BC (盤洲Cブイ)	12.7 (11.4)	32.26 (31.40)	2.6 (3.5)	8.5 (8.4)	6.7 (5.4)	4 (57)	298 (404)	2 (12)	8.4
	st.8 (盤洲A南)	11.6 (11.3)	31.88 (31.75)	2.6 (3.9)	8.5 (8.3)	4.9 (5.1)	6 (52)	358 (376)	1 (13)	12.1
	富津	12.0 (11.5)	32.04 (31.91)	3.3 (4.5)	8.4 (8.2)	5.7 (5.7)	12 (50)	295 (334)	2 (11)	5.8
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	12.1 (11.8)	32.35 (32.89)	4.5 (6.5)	8.3 (8.2)		109 (32)	449 (257)	12 (12)	6.2
	st.31	13.0 (12.1)	33.10 (32.95)	7.5 (8.2)	8.2 (8.3)		75 (24)	300 (262)	13 (11)	1.4
	st.23	16.9 (14.8)	34.57 (34.31)	14.5 (18.1)	8.2 (8.2)		12 (15)	66 (114)	6 (13)	0.7
	st.1	17.6 (15.3)	34.72 (34.46)	13.0 (17.9)	8.2 (8.1)		12 (11)	43 (93)	6 (12)	0.6
	st.10 (下洲沖)	14.5 (12.7)	33.72 (33.50)	10.0 (8.0)	8.2 (8.2)		58 (21)	203 (205)	11 (11)	1.4
	st.12 (湊沖)	12.6 (12.8)	33.29 (33.67)	8.0 (7.7)	8.2 (8.2)		50 (17)	261 (180)	13 (11)	
	st.22 (保田沖)	17.1 (15.0)	34.60 (34.43)	14.0 (14.3)	8.2 (8.2)		34 (12)	89 (104)	7 (11)	0.6
	st.24 (富山沖)	17.4 (15.1)	34.65 (34.45)	14.0 (16.2)	8.2 (8.1)		3 (11)	39 (94)	4 (12)	0.6
st.26 (館山湾内)	17.6 (15.2)	34.65 (34.41)	11.0 (16.6)	8.2 (8.1)		2 (11)	34 (91)	4 (12)		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。